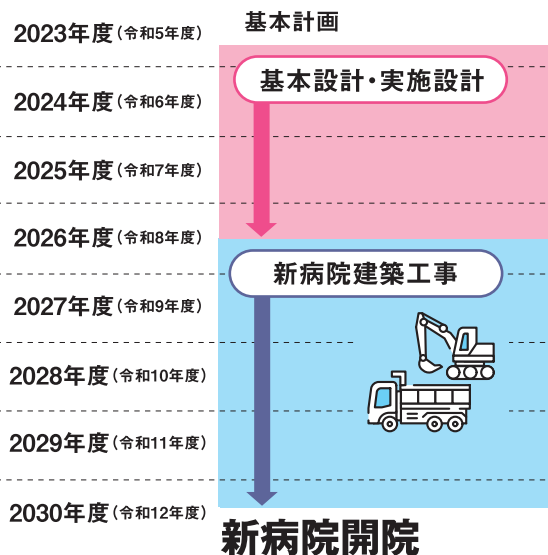


スケジュール



県病院跡地の方向性

～安全な暮らし～

- 県病院の跡地の周辺において引き続き地域の方が安心して暮らし続けることができるよう、地域の医療機関との連携や高齢者等のアクセスを考慮した上で、必要な「医療」「介護」「福祉」サービスを受けることができる体制を整えます。
- 大規模災害に備えるため、防災体制の充実強化を検討します。

～活気あふれるまちづくり～

- 多様な世代が、いきいきと暮らし続けることができるよう、「賑わい」「健康づくり」「子育て」等の機能整備を検討します。



今後、方向性の具体化に向けて
検討を行っていきます。

効果1



全国トップレベルの
医療が
受けられる

課題1 医療機能

進歩し続ける最新の医療を
提供できなくなるおそれがある

STEP1

医療資源を集約・症例を集積し、
新病院を整備

効果2



医療人材の
不足が解消
される

課題2 人材

県内の若手医師
減少傾向の加速

STEP2

症例の集積等、
医療職にとって魅力歴な
環境を整備

効果3



地域間・診療科間の
医師偏在が解消
される

課題3 地域医療体制

地域間・診療科間の
医師偏在の拡大

STEP3

地域医療に関心のある
医療者を確保・育成

広島県健康福祉局医療機能強化推進課

広島市中区基町10番52号 TEL:082-513-3086

MAIL:fuiyoukinou@pref.hiroshima.lg.jp

高度医療・人材育成拠点



どう変わる? 広島県の医療

県民の命を守るため 新病院を整備

高度医療・人材育成拠点構想



どんな病院?

いつ開院?



どんな病院ができるの？

2030年度に開院予定

全国トップレベルの高度医療を提供する機能や、医療人材を育成・派遣する機能を有する「高度医療・人材育成拠点」として、県立広島病院・JR広島病院・中電病院・HIPRACが一体となり、広島市東区二葉の里に、1,000床規模の新病院の整備を予定しています。



©ZENRIN

理念・基本方針

県民の皆様信頼される基幹病院として、全国トップレベルの高水準かつ安全な医療を提供するとともに、医療人材を育成し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる広島県の実現に貢献します。

病床数

1,000床

※病床数・診療科構成は今後の医療需要の変化などにより、変更する可能性があります。

診療科数

41科

建設予定地

広島県広島市東区二葉の里3丁目

こどもの医療を 充実させてほしい！



こどものからだところの健康を守る医療に力を入れます。365日体制でこどもの救急医療に対応する中国地方初のER併設型の小児救命救急センターやこども専用の集中治療室(PICU)を整備します。また、ひきこもり、虐待、発達障害など、こどものこころの問題に対応する児童・思春期病床も整備します。いわゆる「こども病院」として、小児のあらゆる疾患に対応します。

救急患者のたらい回しを なくしてほしい！



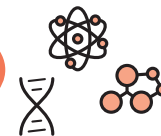
今後、高齢者が増えていくと、救急患者も増えることが予想されます。医師や医療設備が分散していると、個々の医療機関では、人手不足になりやすく、救急患者を受け入れることが難しくなります。新病院では、マンパワーや設備を集約して「断らない救急」を目指します。

地震・豪雨などの災害が 発生しても大丈夫？



新病院では、県立広島病院が担っている基幹災害拠点病院の役割を引き継いで、傷病者の受入やDMATの派遣、人材育成などにより、医療体制を確保し、災害にも強い医療機関を目指します。また、近年、広島でも頻発している水害への対策や大地震への対応を想定した造りとし、災害時の「医療の継続」「応急対応活動の実施」が確保できる病院とします。

もし、がんになったら…



日本人の2人に1人が障害でがんになると言われています。手術、抗がん剤治療、放射線療法など患者さんに最も適した治療法を組み合わせた治療を行います。また、がんの原因となる遺伝子を解析し、1人ひとりの体質や病状に合ったゲノム医療も提供します。

医師不足の地域は どうなるの？



若手医師は、全国では増加していますが、県内は減少傾向です。そのため、新病院では、多くの症例を経験でき、指導体制が充実している環境に整えて、若手医師を中心に医師を確保します。また、医師のキャリアアップ支援やワークライフバランスに配慮した医師循環の仕組みをつくって県内の医師不足の課題にも対応します。

コロナとか感染症への 備えは大丈夫？



新型コロナウイルスのパンデミックでは、病床の確保が大きな課題となりました。新病院では、新たな感染症の流行に備えて、専用病床の確保や必要な資機材の整備、専門人材の育成など、機動的に対応できる体制を整えます。

なぜ広島駅の 北口なの？



がん医療、周産期医療、災害医療など様々な拠点的役割を担う県の基幹病院として県全域からの交通の利便性が高い立地が望ましく、また、防災上の視点からも、南海トラフ地震発生時に浸水のおそれのない広島駅の北口(二葉の里地区)は新病院の整備場所として適していると考えます。